

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-274299

(43)Date of publication of application : 30.09.1994

(51)Int.Cl.

G06F 3/14

G06F 3/14

G06F 15/20

G06F 15/20

(21)Application number : 03-131847

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 07.05.1991

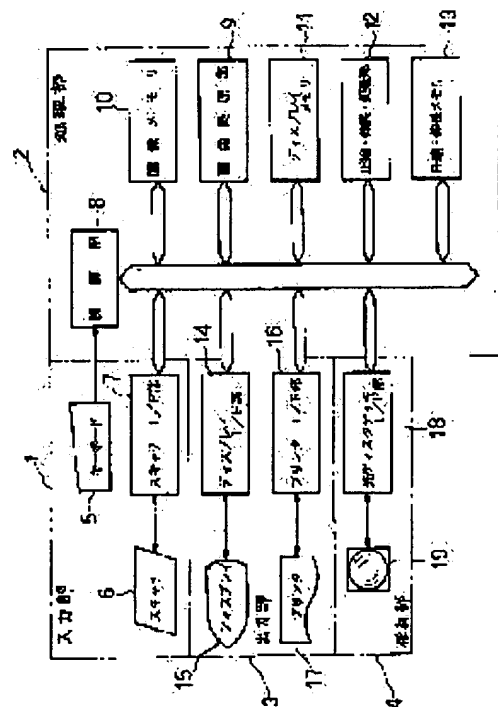
(72)Inventor : HASEGAWA YUKICHI

(54) COMPUTER PROCESSING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve operability and to considerably improve working efficiency by letting an optimum menu picture, guidance picture, or the like have at every individual.

CONSTITUTION: In a computer processing system for performing processing of information based upon operation contents inputted from a keyboard 5 while displaying a guide picture on a display 15, a control part 8 edits the guide picture based upon default indicating contents inputted from the keyboard 5, prepares a guide picture based upon the edited contents and displays the guide picture on the display 15.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-274299

(43)公開日 平成 6 年(1994) 9 月30日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 3/14	3 3 0 A	7165-5B		
	3 1 0 B	7165-5B		
15/20	5 8 6 A	7315-5L		
	5 9 0 Z	7315-5L		

審査請求 未請求 請求項の数 6 F D (全 28 頁)

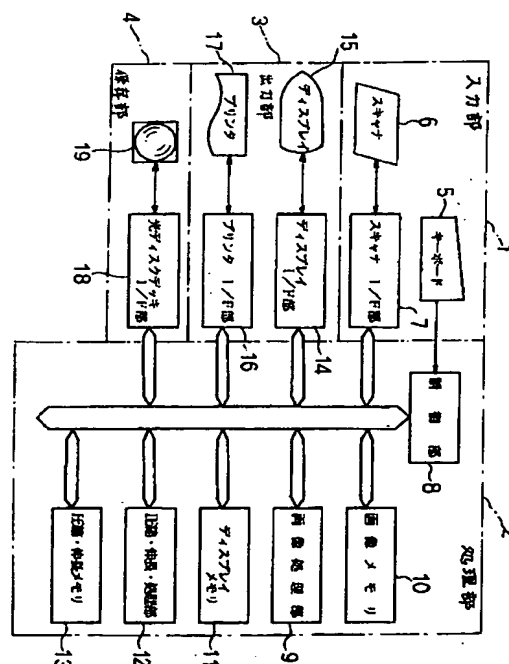
(21)出願番号	特願平3-131847	(71)出願人	000006747 株式会社リコー 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号
(22)出願日	平成 3 年(1991) 5 月 7 日	(72)発明者	長谷川 祐吉 東京都大田区中馬込一丁目 3 番 6 号 株式 会社リコー内

(54)【発明の名称】 コンピュータ処理システム

(57)【要約】

【目的】 本発明は各個人毎に最適なメニュー画面やガイダンス画面等を持たせ、これによって操作性を向上させて作業効率を大幅に向上させる。

【構成】 ディスプレイ 15 によって案内画面を表示しながらキーボード 5 から入力された操作内容に基づいて情報の処理を行なうコンピュータ処理システムにおいて、制御部 8 によって前記キーボード 5 から入力されたデフォルト指示内容に基づき案内画面を編集し、制御部 8 によって前記編集内容に基づき案内画面を作成して前記ディスプレイ 15 に表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 表示部によって案内画面を表示しながら入力部から入力された操作内容に基づいて情報の処理を行なうコンピュータ処理システムにおいて、前記入力部から入力されたデフォルト指示内容に基づいて案内画面を編集する編集部と、この編集部の編集内容に基づいて案内画面を作成して前記表示部に表示させる表示制御部とを備えたことを特徴とするコンピュータ処理システム。

【請求項2】 前記編集部は前記表示部上に画面レイアウト画面を表示させながら前記入力部から入力されたレイアウト指示内容に基づいて案内画面を編集する請求項1記載のコンピュータ処理システム。

【請求項3】 前記編集部は前記表示部上に画面レイアウト画面を表示させながら前記入力部から入力されたデフォルト指示内容及びレイアウト指示内容に基づいて案内画面を編集する請求項1記載のコンピュータ処理システム。

【請求項4】 前記編集部は前記入力部から入力された各アプリケーションプログラム毎の操作内容に基づいて案内画面を構成する各画面パーツを編集する請求項1記載のコンピュータ処理システム。

【請求項5】 前記編集部は前記入力部から入力された操作内容に基づいて各操作者レベル毎に、かつ各アプリケーションプログラム毎に案内画面を編集する請求項1記載のコンピュータ処理システム。

【請求項6】 前記編集部は前記入力部から入力された操作内容に基づいて各個人毎に、かつ各アプリケーションプログラム毎に案内画面を編集する請求項1記載のコンピュータ処理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明はマン・マシンインタフェースを有する各種コンピュータ機器やOA機器等のコンピュータ処理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】各種のコンピュータ機器やOA機器等のコンピュータ処理システムにおいては、各システム毎に予め設定されているメニュー画面やガイダンス画面を表示して処理内容に関する選択や説明を行ないながら、指定された処理を行なう。

【0003】しかしながら、このような方法は誰にでも使用できるという意味では、極めて親切であるものの、熟練者にとっては不必要な部分が多く操作性が良くないという問題があった。

【0004】特に、電子ファイル等を処理対象とするシステムでは、個人毎にマン・マシンインタフェースを変えた方が効率が良いことからメニュー画面やガイダンス画面の設定が難しいという問題があった。

【0005】そこで、このような問題を解決する方法と

して、各個人別のメニュー画面やガイダンス画面を持たせるようにしたシステムも開発されているが、このような方法では、各個人毎の情報を保持しなければならないので、大容量の記憶容量が必要になるとともに、記憶内容の更新が頻繁に発生するのでフロッピーディスクや追記型光ディスクでは各個人毎の情報を保持することができないという問題があった。

【0006】本発明は上記の事情に鑑み、各個人毎に最適なメニュー画面やガイダンス画面等を持たせることができ、これによって操作性を向上させて作業効率を大幅に向上させることができるコンピュータ処理システムを提供することを目的としている。

【0007】

【発明の構成】上記の目的を達成するために本発明によるコンピュータ処理システムは、表示部によって案内画面を表示しながら入力部から入力された操作内容に基づいて情報の処理を行なうコンピュータ処理システムにおいて、前記入力部から入力されたデフォルト指示内容に基づいて案内画面を編集する編集部と、この編集部の編集内容に基づいて案内画面を作成して前記表示部に表示させる表示制御部とを備えたことを特徴としている。

【0008】

【作用】上記の構成において、表示部によって案内画面を表示しながら入力部から入力された操作内容に基づいて情報の処理を行なうコンピュータ処理システムにおいて、編集部によって前記入力部から入力されたデフォルト指示内容に基づき案内画面を編集し、表示制御部によって前記編集部の編集内容に基づき案内画面を作成して前記表示部に表示する。

【0009】

【実施例】以下、添付図面に示した実施例に基づいて本発明を説明する。

【0010】図1は本発明によるコンピュータ処理システムの一実施例を示すブロック図である。

【0011】この図に示すコンピュータ処理システムは入力部1と、処理部2と、出力部3と、保存部4とを備えており、入力部1から入力された内容や保存部4に保存されている内容を処理部2で処理しこれを出力部3から出力させたり、保存部4に保存させる。

【0012】入力部1は各種のキーを有し、これら各種キーのいずれかが操作されたとき、操作内容に応じたキー信号を生成するキーボード5と、原稿等のイメージ情報を取り込むスキャナ6と、このスキャナ6を制御してイメージ情報を取り込むスキャナインタフェース部7とを備えており、キーボード5が操作されたとき、操作内容に応じたキー信号を生成してこれを処理部2に供給し、また前記処理部2からイメージ取込み指令が供給されたとき、スキャナ6によって原稿等のイメージ情報を取込みこれをスキャナインタフェース部7を介して前記処理部2に供給する。

【0013】処理部2は各種の処理を行なうマイクロプロセッサ等によって構成される制御部8と、処理対象となるイメージ情報等の処理を行なう画像処理部9と、この画像処理部9の作業エリア等として使用される画像メモリ10と、表示対象となるメニュー画面やガイダンス画面、イメージ情報等を保持するディスプレイメモリ11と、処理対象となるイメージ情報の圧縮処理や伸長処理を行なう圧縮・伸長処理部12と、この圧縮・伸長処理部12の作業エリア等として使用される圧縮伸長メモリ13とを備えており、前記入力部1から入力された内容に基づいて前記入力部1から入力された内容や保存部4に保存されている内容を読み出してこれを処理し、この処理結果を出力部3から出力させたり、保存部4に保存させる。

【0014】出力部3は前記処理部2から表示情報が供給されたとき、これを取り込むディスプレイインタフェース部14と、このディスプレイインタフェース部14によって取り込まれた表示情報を表示するディスプレイ15と、前記処理部2から印字情報が供給されたとき、これを取り込むプリンタインタフェース部16と、このプリンタインタフェース部16によって取り込まれた印字情報を記録紙上にプリントするプリンタ17とを備えており、前記処理部2から供給される表示情報に基づいてディスプレイ15上にメニュー画面やガイダンス画面、イメージ情報等を表示したり、前記処理部2から印字情報が供給されたとき、これをプリンタ17によってプリントアウトする。

【0015】また、保存部4は記憶媒体となる光ディスクに情報を記録したり、読み出したりする光ディスクデッキ19と、前記処理部2から保存対象となる情報が供給されたとき、これを取り込んで前記光ディスクデッキ19に供給し、また前記処理部2から読み出し指令が供給されたとき、前記光ディスクデッキ19から情報を読み出してこれを前記処理部2に供給する光ディスクデッキインタフェース部18と、を備えており、前記処理部2から保存対象となる情報が供給されたときこれを光ディスクに保存し、また読み出し指令が供給されたときこの読み出し指令によって指定された情報を読み出してこれを前記処理部2に供給する。

【0016】次に、図2に示すフローチャートを参照しながらこの実施例のメニュー画面、ガイダンス画面表示動作の第1例を説明する。

【0017】まず、初期操作では(ステップST1)、制御部8は光ディスクデッキ19を制御して初期画面として設定されているメニュー画面やガイダンス画面の情報を読み出して表示情報を作成し、これをディスプレイ15上に表示させる(ステップST2)。

【0018】そして、入力部1のキーボードが操作されてディスプレイ15上に表示されているメニュー画面やガイダンス画面のメッセージをデフォルトさせるディ

フォルト情報が入力されたとき、制御部8は前記デフォルト情報を光ディスクデッキ19に供給して光ディスクに記憶させる(ステップST3)。

【0019】この後、次のシステム立ち上げ時以降(ステップST1)、制御部8は前記光ディスクに格納されているデフォルト情報に基づいて光ディスクに格納されているメニュー画面やガイダンス画面を編集して前記操作者の熟練度、本人の性格、好み等に応じたメニュー画面やガイダンス画面にしてディスプレイ15上に表示する(ステップST4)。

【0020】これによって、各個人毎に最適なメニュー画面やガイダンス画面等を持たせることができ、これによって操作性を向上させて作業効率を大幅に向上させることができる。

【0021】次に、図3に示すフローチャートを参照しながらこの実施例のメニュー画面、ガイダンス画面表示動作の第2例を説明する。

【0022】まず、初期操作では(ステップST5)、制御部8は光ディスクデッキ19を制御して初期画面として設定されているメニュー画面やガイダンス画面の情報を読み出して表示情報を作成し、これをディスプレイ15上に表示させる。

【0023】そして、入力部1のキーボードが操作されて画面レイアウト指令が入力されたとき、制御部8は光ディスクから画面レイアウト画面を読み出してこれをディスプレイ15上に表示させる(ステップST6)。

【0024】この後、入力部1のキーボードが操作されてディスプレイ15上に表示されているメニュー画面やガイダンス画面のアイコン位置等を変更するレイアウト変更指令が入力されたとき、制御部8は前記入力部1の操作内容に基づいてレイアウト情報を取り込みこれを光ディスクデッキ19に供給して光ディスクに記憶させる(ステップST8)。

【0025】この後、次のシステム立ち上げ時以降、制御部8は前記光ディスクに格納されているレイアウト情報に基づいて光ディスクに格納されているメニュー画面やガイダンス画面を編集して前記操作者の熟練度、本人の性格、好み等に応じてメニュー画面やガイダンス画面を自由に設定してディスプレイ15上に表示する(ステップST9)。

【0026】これによって、各個人毎に最適なメニュー画面やガイダンス画面等を持たせることができ、操作性を向上させて作業効率を大幅に向上させることができる。

【0027】次に、図4に示すフローチャートを参照しながらこの実施例のメニュー画面、ガイダンス画面表示動作の第3例を説明する。

【0028】まず、初期操作には(ステップST10)、制御部8は光ディスクデッキ19を制御して初期画面として設定されているメニュー画面やガイダンス画

10

20

30

40

50

面の情報を読み出して表示情報を作成し、これをディスプレイ15上に表示させる(ステップST11)。

【0029】そして、入力部1のキーボードが操作されて表示内容の変更指令が入力されたとき(ステップST12)、制御部8は前記キーボードの操作内容に基づいてディスプレイ15上に表示されているメニュー画面やガイダンス画面のメッセージをディフォルトさせるディフォルト情報を読み込み、これを光ディスクデッキ19に供給して光ディスクに記憶させる(ステップST13)。

【0030】この後、制御部8は光ディスクから画面レイアウト画面を読み出してこれをディスプレイ15上に表示させる。

【0031】そして、入力部1のキーボードが操作されてディスプレイ15上に表示されているメニュー画面やガイダンス画面のアイコン位置等を変更するレイアウト変更指令が入力されたとき、制御部8は前記入力部1の操作内容に基づいてレイアウト情報を読み込みこれを光ディスクデッキ19に供給して光ディスクに記憶させる(ステップST14)。

【0032】この後、次のシステム立ち上げ時以降、制御部8は前記光ディスクに格納されているディフォルト情報とレイアウト情報とに基づいて光ディスクに格納されているメニュー画面やガイダンス画面を編集して前記操作者の熟練度、本人の性格、好み等に応じてメニュー画面やガイダンス画面を自由に設定してディスプレイ15上に表示する(ステップST15)。

【0033】これによって、各個人毎に最適なメニュー画面やガイダンス画面等を持たせることができ、これによって操作性を向上させて作業効率を大幅に向上させることができる。

【0034】次に、図5に示すフローチャートを参照しながらこの実施例のメニュー画面、ガイダンス画面表示動作の第4例を説明する。

【0035】まず、初期操作では、制御部8は光ディスクデッキ19を制御して初期画面として設定されているメニュー画面やガイダンス画面の情報を読み出して表示情報を作成し、これをディスプレイ15上に表示させる。

【0036】そして、入力部1のキーボードが操作されてディスプレイ15上に表示されているメニュー画面やガイダンス画面の内容を変更する表示変更指令が入力されたとき(ステップST16)、制御部8は光ディスクに格納されている各部品情報、すなわち前記メニュー画面やガイダンス画面の構成要素として用意されている各メッセージや各アイコン等の部品情報を読み出し、これをディスプレイ15上に表示させる(ステップST17)。

【0037】次いで、入力部1のキーボードが操作されて部品情報やディフォルト情報が入力されたとき、制御部8は前記部品情報やディフォルト情報を読み込んで光

ディスクデッキ19に供給し光ディスクに記憶させる(ステップST18)。

【0038】この後、次のシステム立ち上げ時以降、制御部8は前記光ディスクに格納されている部品情報やディフォルト情報に基づいて光ディスクに格納されている各部品情報を編集してメニュー画面やガイダンス画面を作成し前記操作者の熟練度、本人の性格、好み等に応じてメニュー画面やガイダンス画面を自由に設定してディスプレイ15上に表示する(ステップST19)。

10 【0039】これによって、各個人毎に最適なメニュー画面やガイダンス画面等を持たせることができ、これによって操作性を向上させて作業効率を大幅に向上させることができる。

【0040】次に、図6に示すフローチャートを参照しながらこの実施例のメニュー画面、ガイダンス画面表示動作の第5例を説明する。

【0041】まず、初期操作では(ステップST20)、制御部8は光ディスクデッキ19を制御して初期画面として設定されているメニュー画面やガイダンス画面の情報を読み出して表示情報を作成し、これをディスプレイ15上に表示させる(ステップST21)。

20 【0042】そして、入力部1のキーボードが操作されたとき、制御部8はこれらの各指令や情報に基づいて指定された処理を行なうとともに(ステップST24)、前記キーボードの操作内容に基づいてこれらの処理に対する操作者の操作レベルを判定してこの判定結果を光ディスクデッキ19に供給し、光ディスクに記憶させる(ステップST26)。

30 【0043】次いで、次のシステム立ち上げ時以降(ステップST20)、制御部8は前記光ディスクに格納されている各操作者の操作レベルを読み出しこれをディスプレイ15上に表示するとともに(ステップST22)、前記入力部1のキーボードが操作されて各操作レベルのいずれかが選択されたとき、選択された操作レベルに応じて光ディスクに格納されているメニュー画面やガイダンス画面を編集して前記操作者の熟練度、本人の性格、好み等に応じてメニュー画面やガイダンス画面を自由に設定してディスプレイ15上に表示する(ステップST23)。

40 【0044】これによって、各個人毎に最適なメニュー画面やガイダンス画面等を持たせることができ、これによって操作性を向上させて作業効率を大幅に向上させることができる。

【0045】次に、図7に示すフローチャートを参照しながらこの実施例のメニュー画面、ガイダンス画面表示動作の第6例を説明する。

50 【0046】まず、初期操作では(ステップST30)、制御部8は光ディスクデッキ19を制御して初期画面として設定されているメニュー画面やガイダンス画

面の情報を読み出して表示情報を作成し、これをディスプレイ15上に表示させる(ステップST31)。

【0047】そして、入力部1のキーボードが操作されて操作者の個人名や一般的な処理に関する指令、情報が入力されたとき、制御部8はこれらの各指令や情報に基づいて指定された処理を行なうとともに(ステップST34)、前記キーボードの操作内容に基づいてこれらの処理に対する操作者の操作レベルを判定してこの判定結果を光ディスクデッキ19に供給し、前記操作者の個人名で光ディスクに記憶させる(ステップST36)。

【0048】次いで、次のシステム立ち上げ時以降(ステップST30)、制御部8は入力部1のキーボードから入力された操作者の個人名に基づいて前記光ディスクに格納されている操作者の操作レベルを読み出し(ステップST32)、この操作レベルに応じて光ディスクに格納されているメニュー画面やガイダンス画面を編集して前記操作者の熟練度、本人の性格、好み等に応じてメニュー画面やガイダンス画面を自由に設定にしてディスプレイ15上に表示する(ステップST33)。

【0049】これによって、各個人毎に最適なメニュー画面やガイダンス画面等を持たせることができ、これによって操作性を向上させて作業効率を大幅に向上させることができる。

【0050】次に、図8に示すフローチャートを参照しながらこの実施例の検索動作の第1例を説明する。

【0051】まず、入力部1のキーボードが操作されて検索指令が入力されれば、制御部8は前記キーボードから前回までの検索手順を利用する指令が入力されているかどうかをチェックし、この指令が入力されていなければ(ステップST40)、前記キーボードから入力された検索内容に基づいて光ディスクをアクセスして指定されたイメージ情報を検索するとともに(ステップST42)、この検索処理手順を抽出してこれを光ディスクに記憶させる(ステップST43)。

【0052】この後、前記入力部1のキーボードが操作されて再び検索指令が入力されて検索手順の再利用が指示されたとき(ステップST40)、制御部8は光ディスクに格納されている検索処理手順情報を読み出し(ステップST41)、この検索処理手順情報に基づいて入力部1のキーボードから入力された内容を処理して光ディスクに格納されているイメージ情報をアクセスする(ステップST42)。

【0053】これによって、過去の操作手順を再利用することができるとともに、検索条件式を作成する手間を省くことができ、さらに操作者に合った操作手順を自動的に設定することができ、検索処理を高速化することができる。

【0054】次に、図9に示すフローチャートを参照しながらこの実施例の検索動作の第2例を説明する。

【0055】まず、入力部1のキーボードが操作されて

検索指令が入力されれば、制御部8は前記キーボードから前回までの検索手順を利用する指令が入力されているかどうかをチェックし、この指令が入力されていなければ(ステップST44)、前記キーボードから入力された検索内容に基づいて光ディスクをアクセスして指定されたイメージ情報を検索するとともに(ステップST46)、この検索手順パターン情報を抽出してこれを光ディスクに記憶させる(ステップST47)。

【0056】この後、前記入力部1のキーボードが操作されて再び検索指令が入力されて検索手順の再利用が指示されたとき(ステップST44)、制御部8は光ディスクに格納されている検索手順パターン情報を読み出し(ステップST45)、この検索手順パターン情報に基づいて入力部1のキーボードから入力された内容を処理して光ディスクに格納されているイメージ情報をアクセスする(ステップST46)。

【0057】これによって、過去の操作手順を再利用することができるとともに、検索条件式を作成する手間を省くことができ、さらに操作者に合った操作手順を自動的に設定することができ、検索処理を高速化することができる。

【0058】次に、図10に示すフローチャートを参照しながらこの実施例の検索動作の第3例を説明する。

【0059】まず、入力部1のキーボードが操作されて検索指令が入力されれば、制御部8は前記キーボードから前回までの検索手順や画像データを利用する指令が入力されているかどうかをチェックし、この指令が入力されていなければ(ステップST50)、前記キーボードから入力された検索内容に基づいて光ディスクをアクセスして指定されたイメージ情報を検索するとともに(ステップST54)、この検索処理手順情報を抽出してこの検索処理手順情報と、検索動作によって得られたイメージ情報を光ディスクに記憶させる(ステップST55)。

【0060】この後、前記入力部1のキーボードが操作されて再び検索指令が入力されて検索手順の再利用が指示されたとき(ステップST50)、制御部8は光ディスクに格納されている検索処理手順情報を読み出す(ステップST51)。

【0061】次いで、制御部8は前記キーボードから前回の検索動作によって得られたイメージ情報を利用する指示が入力されているかどうかをチェックし(ステップST52)、この指示が入力されていれば、光ディスクから前回の検索動作によって得られたイメージ情報を読み出しこれをディスプレイ15上に表示する(ステップST53)。

【0062】この後、制御部8は前記光ディスクから読み出した検索処理手順情報に基づいて入力部1のキーボードから入力された内容を処理してディスプレイ15上に表示されているイメージ情報を処理したり、光ディス

クに格納されているイメージ情報をアクセスしたりする(ステップST54)。

【0063】これによって、過去の操作手順を再利用することができるとともに、検索条件式を作成する手間を省くことができ、さらに操作者に合った操作手順を自動的に設定することができ、検索処理を高速化することができる。

【0064】次に、図11に示すフローチャートを参照しながらこの実施例の検索動作の第4例を説明する。

【0065】まず、入力部1のキーボードが操作されて検索指令が入力されれば、制御部8は前記キーボードから前回までの検索手順や画像データを利用する指令が入力されているかどうかをチェックし、この指令が入力されていなければ(ステップST60)、前記キーボードから入力された検索内容に基づいて光ディスクをアクセスして指定されたイメージ情報を検索するとともに(ステップST64)、この検索処理手順情報を抽出してこの検索処理手順情報と、検索動作によって得られたイメージ情報を操作者の個人名で光ディスクに記憶させる(ステップST65)。

【0066】この後、前記入力部1のキーボードが操作されて再び検索指令が入力されて検索手順の再利用が指示されたとき(ステップST60)、制御部8は操作者の個人名に基づいて光ディスクに格納されている検索処理手順情報を読み出す(ステップST61)。

【0067】次いで、制御部8は前記キーボードから前回の検索動作によって得られたイメージ情報を利用する指示が入力されているかどうかをチェックし(ステップST62)、この指示が入力されていれば、操作者の個人名で光ディスクから前回の検索動作によって得られたイメージ情報を読み出しこれをディスプレイ15上に表示する(ステップST63)。

【0068】この後、制御部8は前記光ディスクから読み出した検索処理手順情報に基づいて入力部1のキーボードから入力された内容を処理してディスプレイ15上に表示されているイメージ情報を処理したり、光ディスクに格納されているイメージ情報をアクセスしたりする(ステップST64)。

【0069】これによって、過去の操作手順を再利用することができるとともに、検索条件式を作成する手間を省くことができ、さらに操作者に合った操作手順を自動的に設定することができ、検索処理を高速化することができる。

【0070】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、各個人毎に最適なメニュー画面やガイダンス画面等を持たせることができ、これによって操作性を向上させて作業効率を大幅に向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるコンピュータ処理システムの一実施例を示すブロック図。

【図2】図1に示すコンピュータ処理システムにおけるメニュー画面、ガイダンス画面表示動作の第1例を示すフローチャート。

【図3】図1に示すコンピュータ処理システムにおけるメニュー画面、ガイダンス画面表示動作の第2例を示すフローチャート。

【図4】図1に示すコンピュータ処理システムにおけるメニュー画面、ガイダンス画面表示動作の第3例を示すフローチャート。

【図5】図1に示すコンピュータ処理システムにおけるメニュー画面、ガイダンス画面表示動作の第4例を示すフローチャート。

【図6】図1に示すコンピュータ処理システムにおけるメニュー画面、ガイダンス画面表示動作の第5例を示すフローチャート。

【図7】図1に示すコンピュータ処理システムにおけるメニュー画面、ガイダンス画面表示動作の第6例を示すフローチャート。

【図8】図1に示すコンピュータ処理システムにおける検索動作の第1例を示すフローチャート。

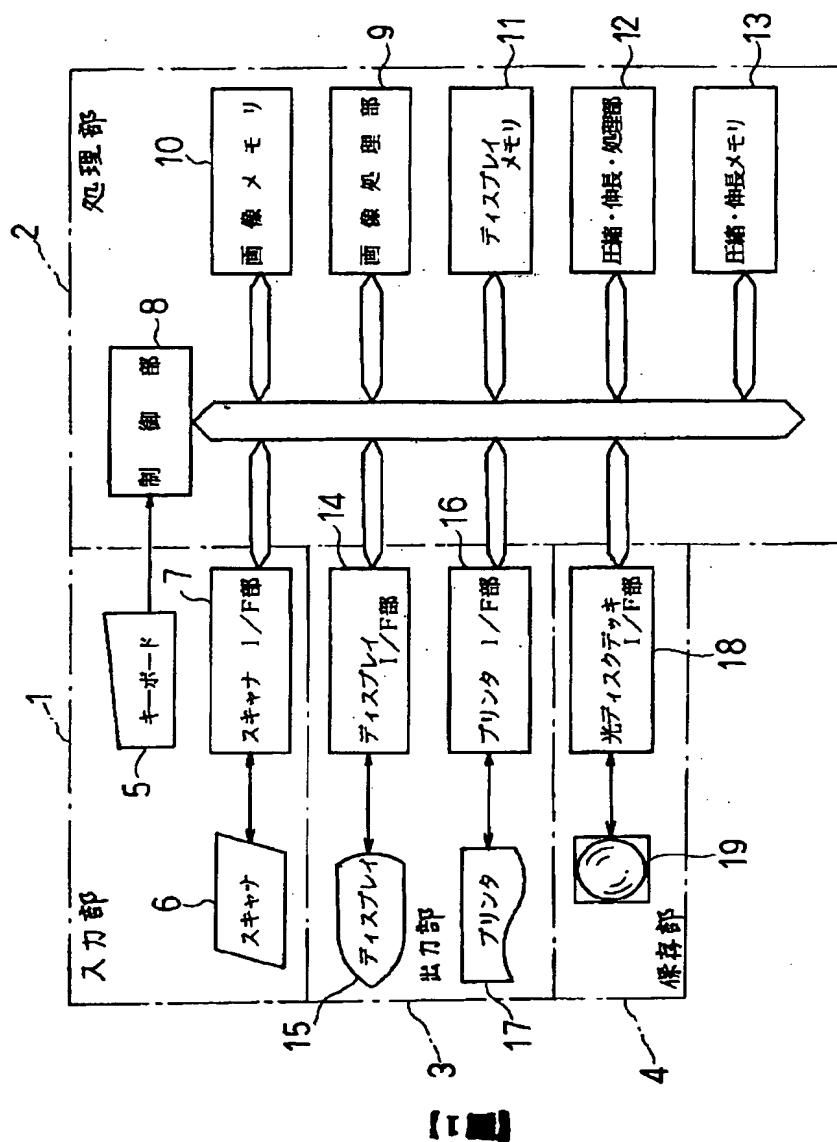
【図9】図1に示すコンピュータ処理システムにおける検索動作の第2例を示すフローチャート。

【図10】図1に示すコンピュータ処理システムにおける検索動作の第3例を示すフローチャート。

【図11】図1に示すコンピュータ処理システムにおける検索動作の第4例を示すフローチャートである。

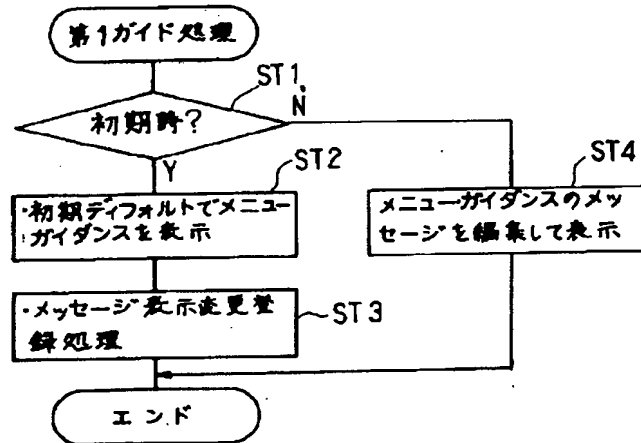
【符号の説明】

- 1 入力部
- 2 処理部
- 3 出力部
- 4 保存部
- 5 キーボード
- 8 制御部
- 15 ディスプレイ

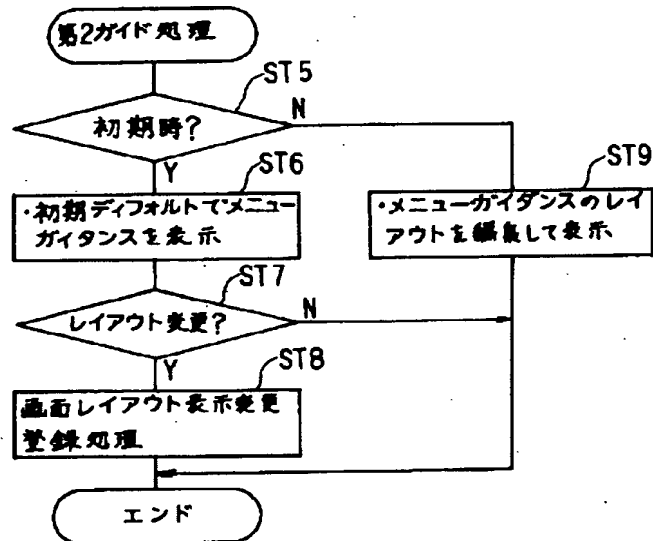


登録番号 9009543

【図2】

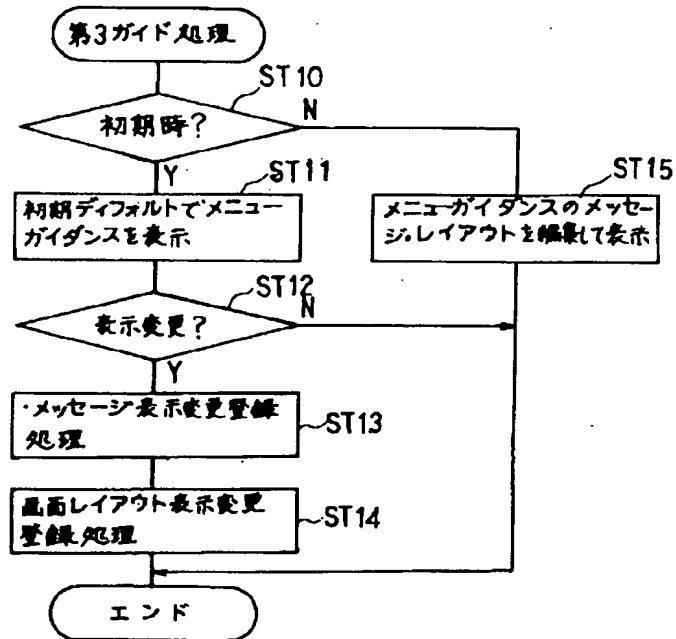


【図3】

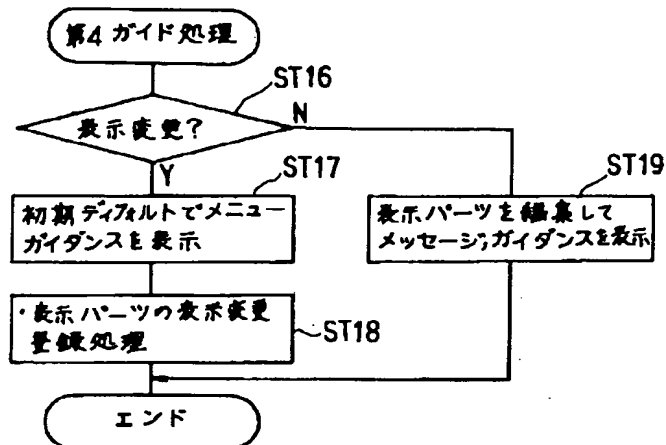


登録番号 9009543

【図4】

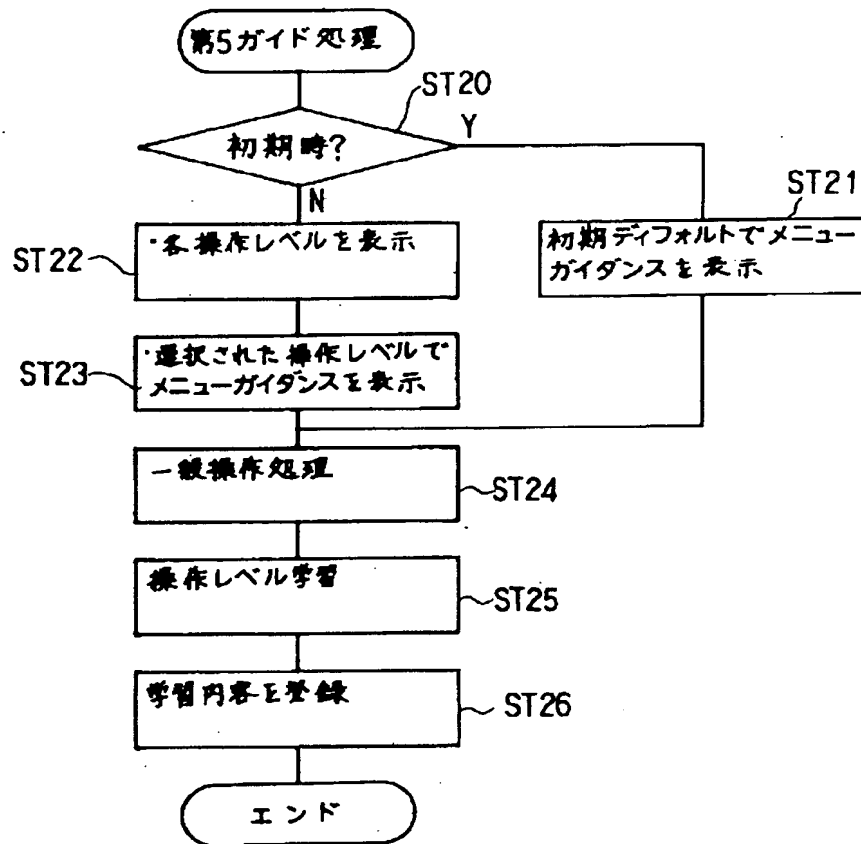


【図5】



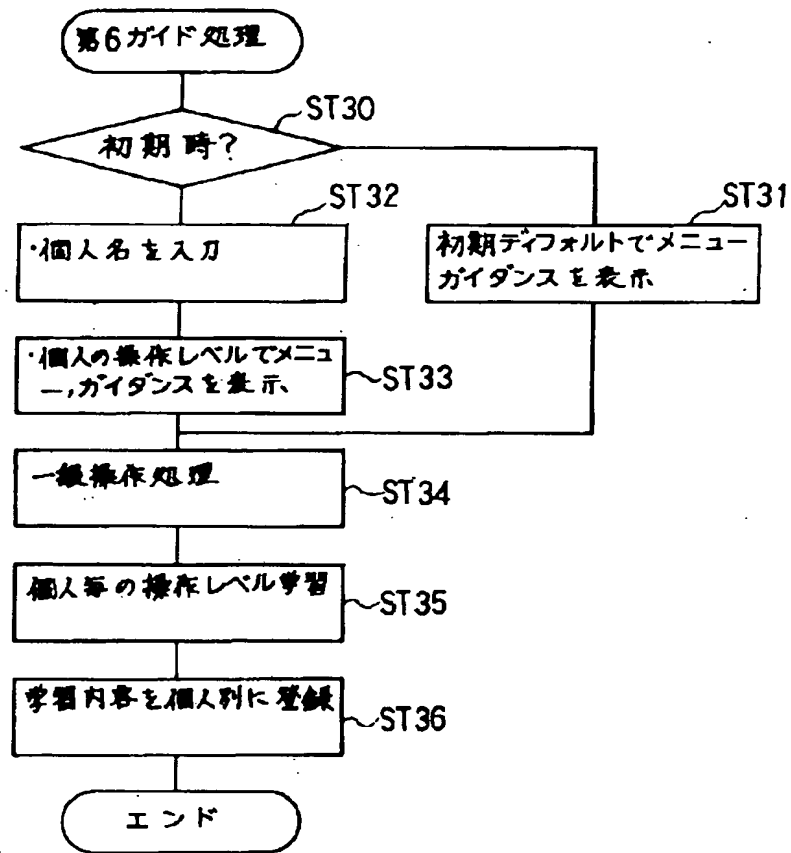
特開平6-274299

【図6】



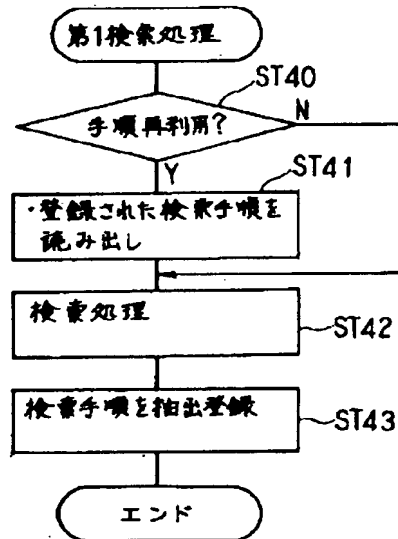
整理番号 9009543

【図7】

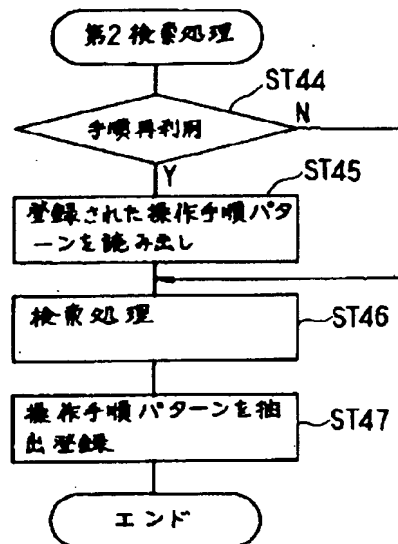


整理番号 9009543

【図8】

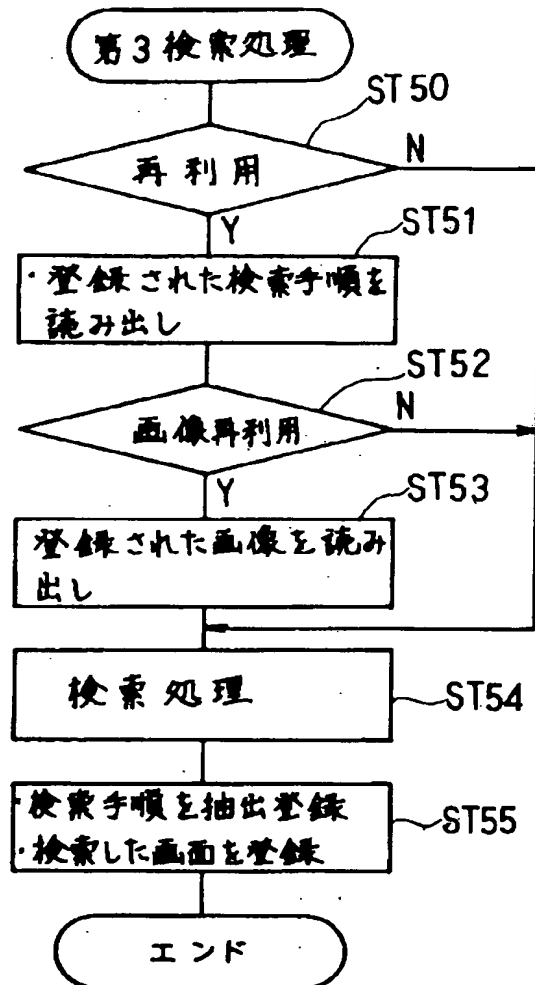


【図9】



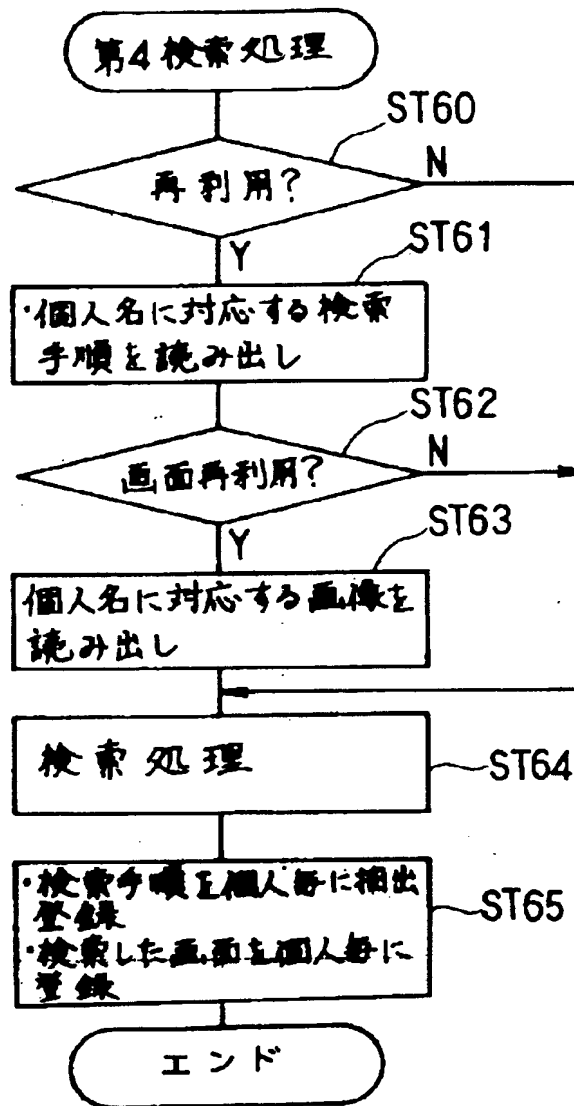
整理番号 9009543

【図10】



整理番号 9009543

【図11】



【手続補正書】

【提出日】平成4年3月2日

【手続補正1】

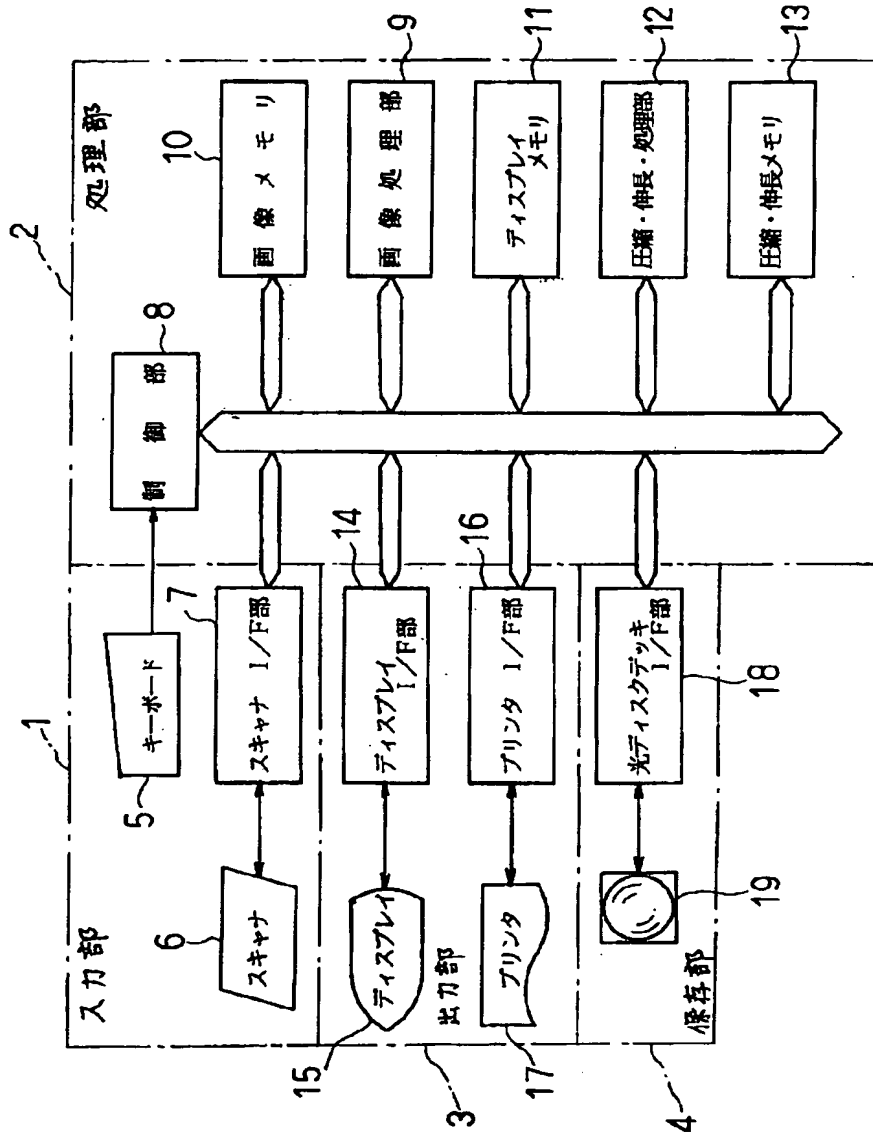
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

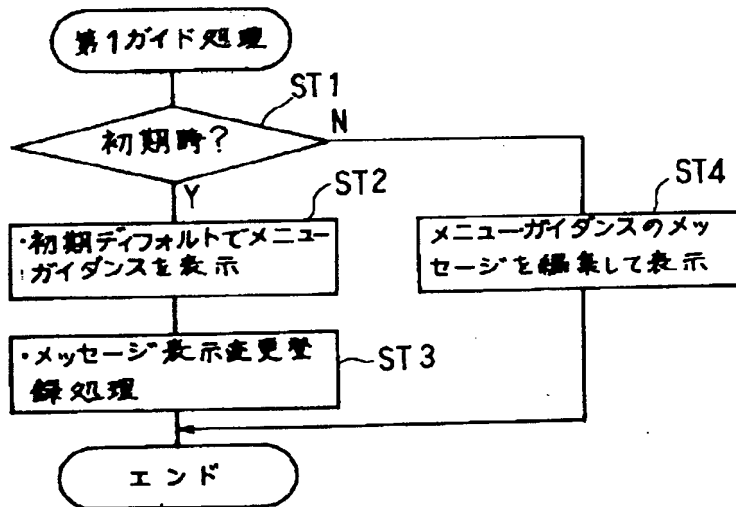
【補正方法】変更

【補正内容】

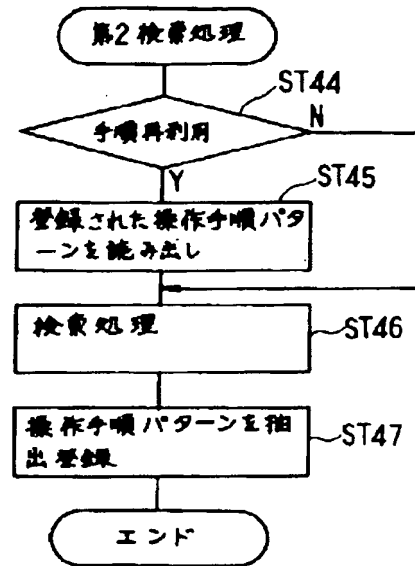
【図1】



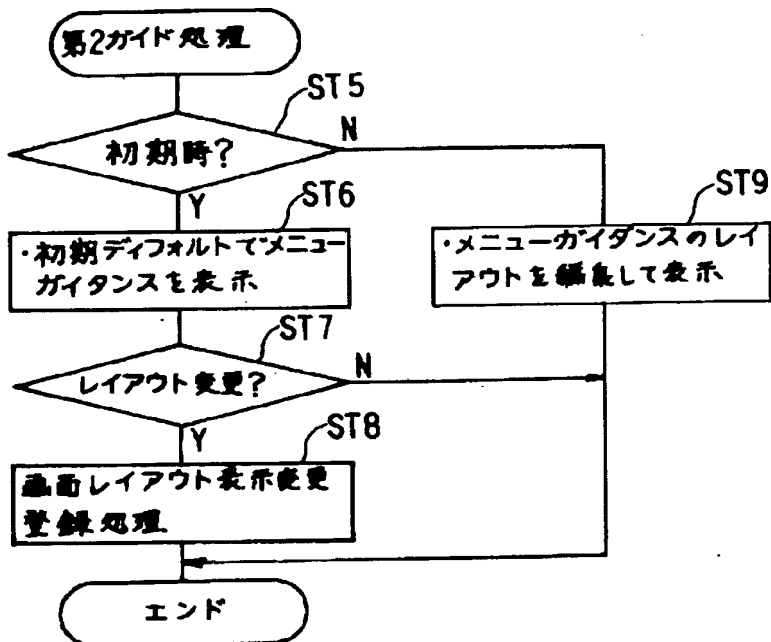
【図2】



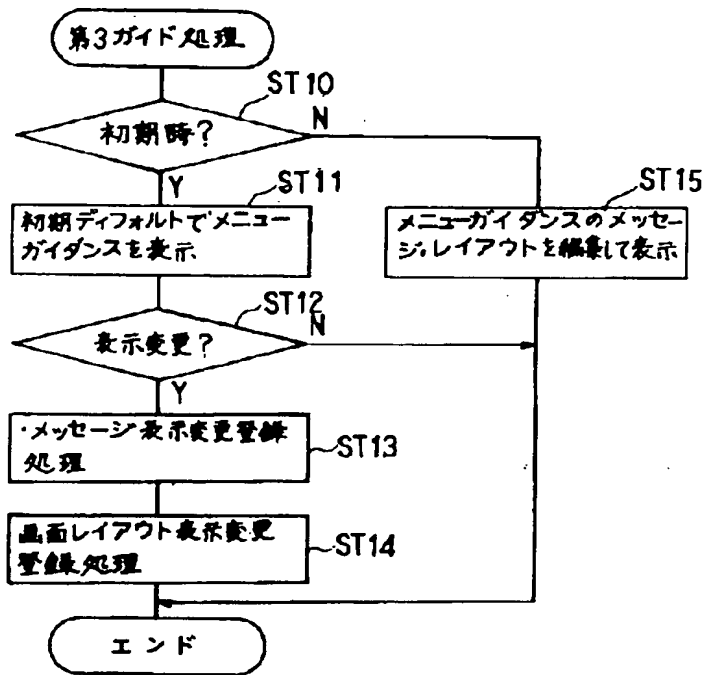
【図9】



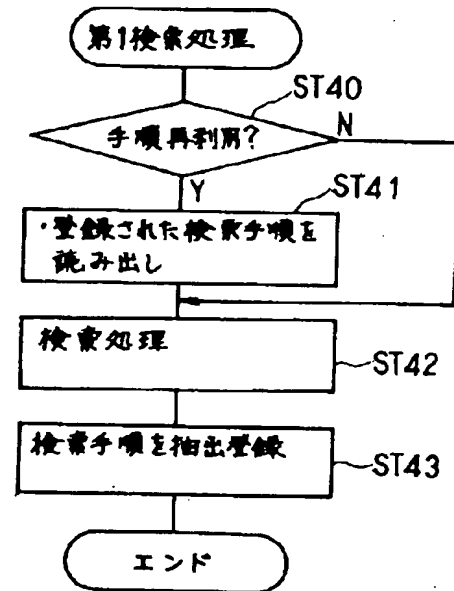
【図3】



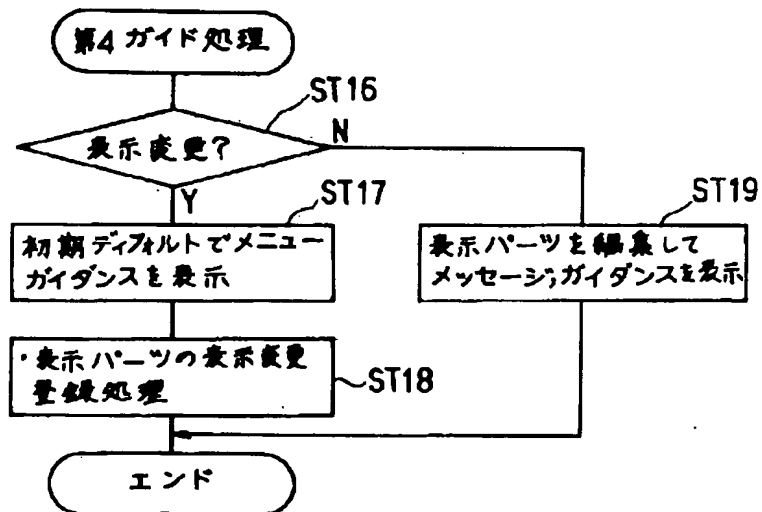
【図4】



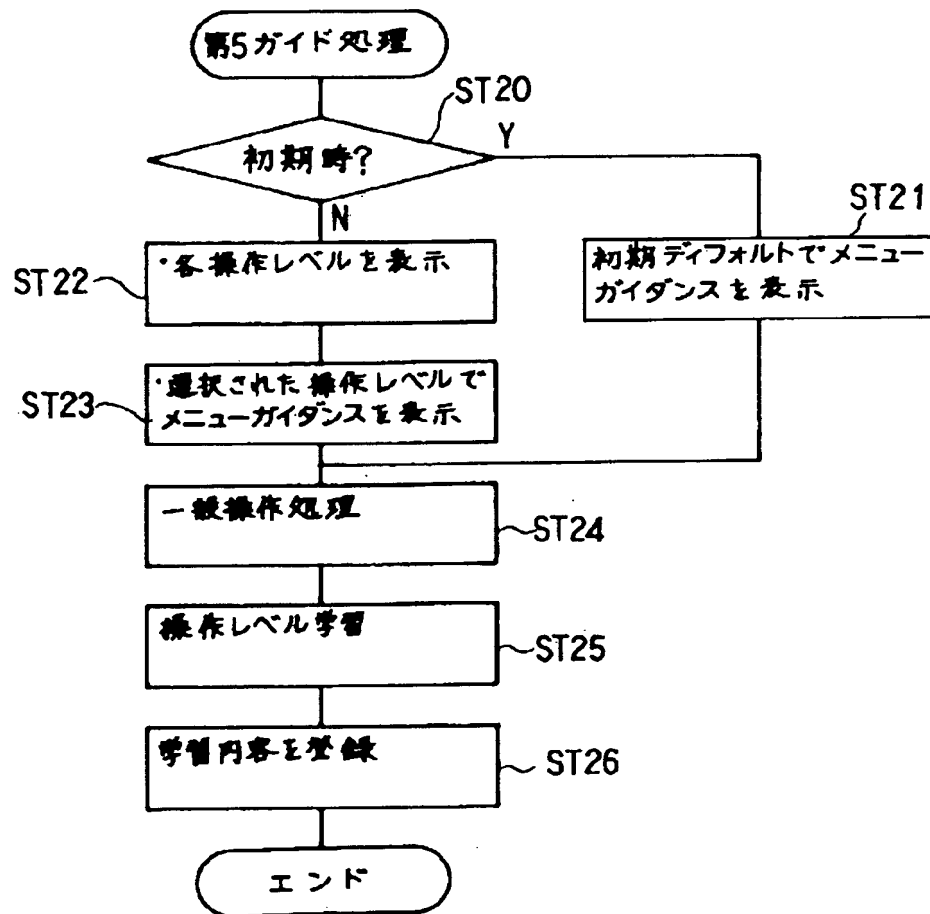
【図8】



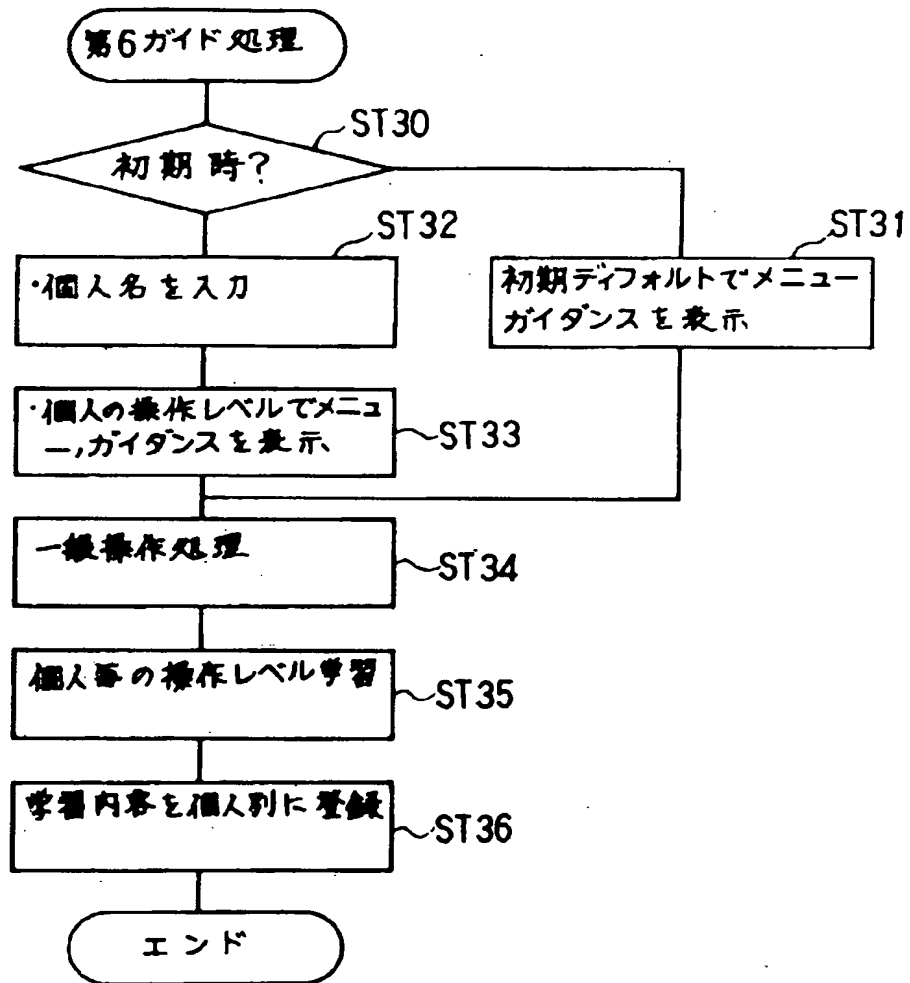
【図5】



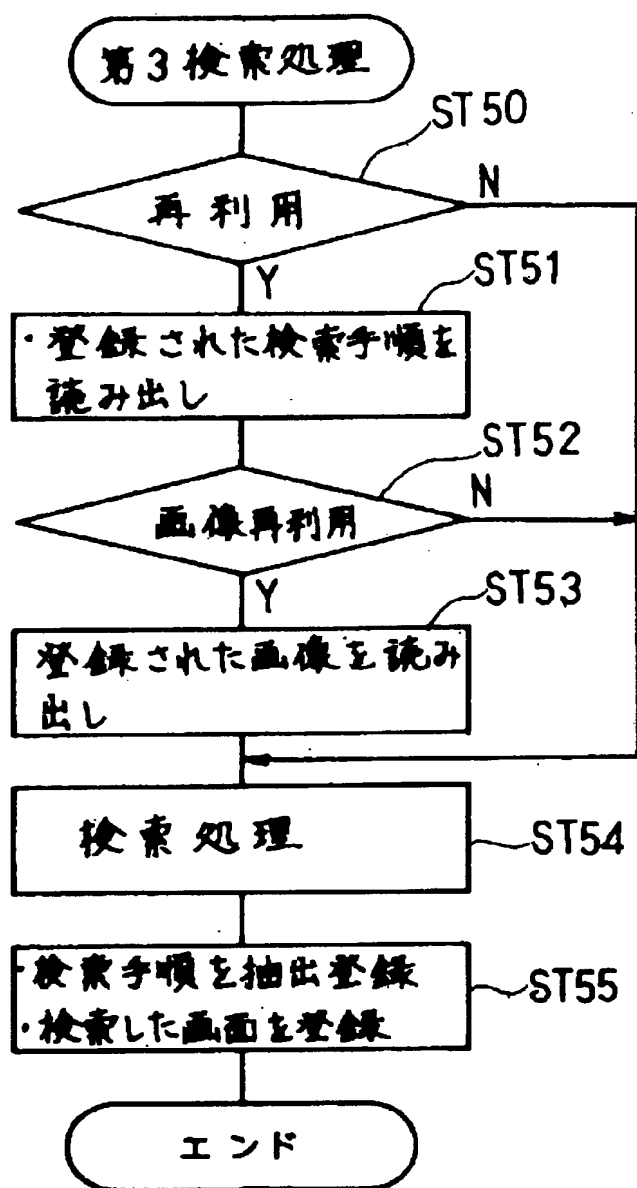
【図6】



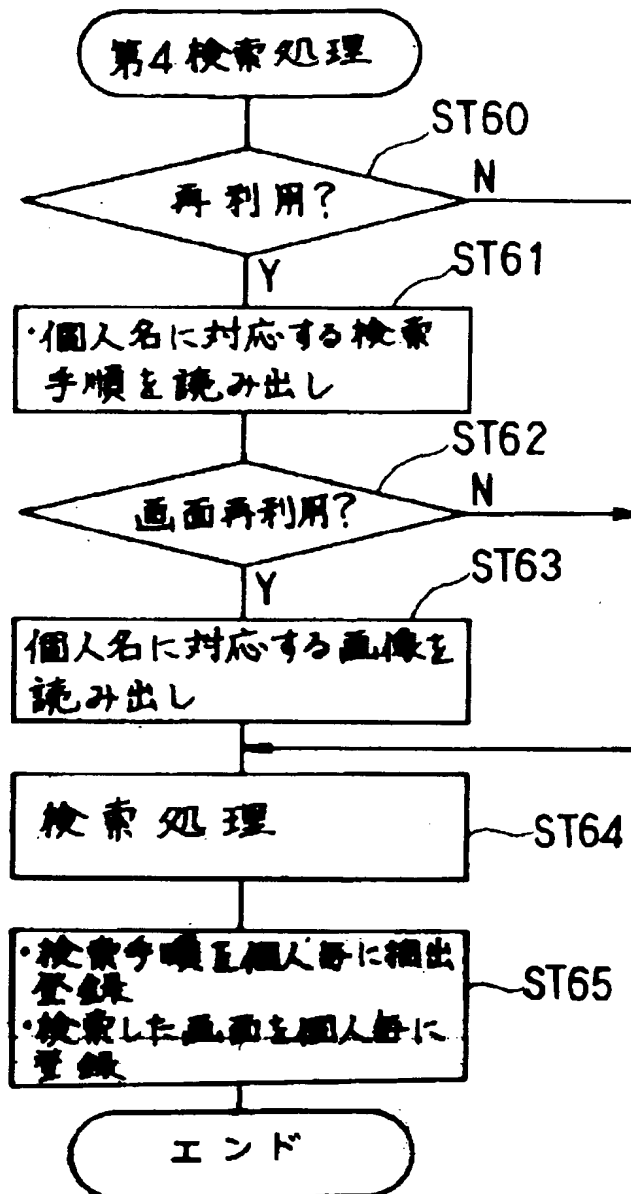
【図7】



【図10】



【図11】



【手続補正書】

【提出日】平成4年7月30日

【手続補正1】

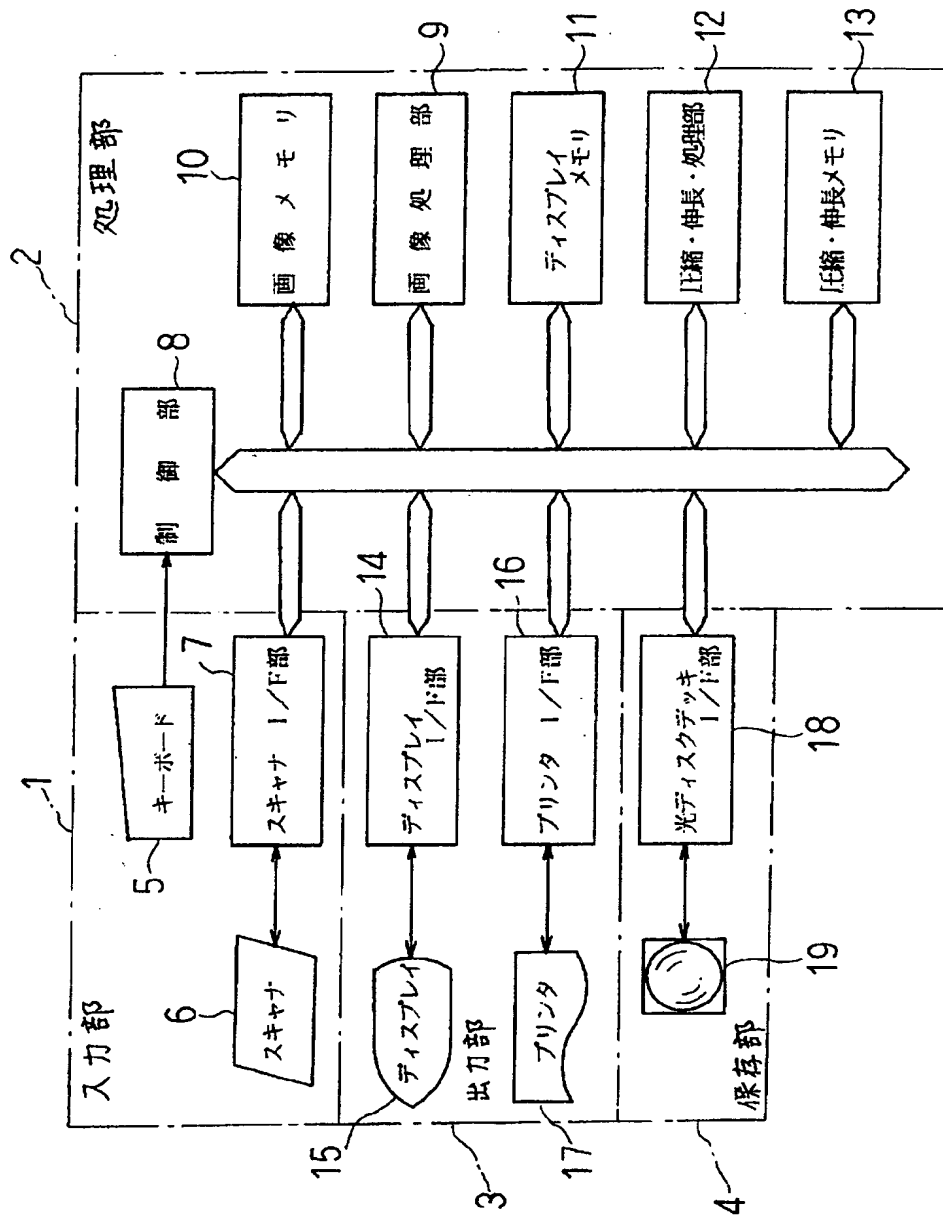
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

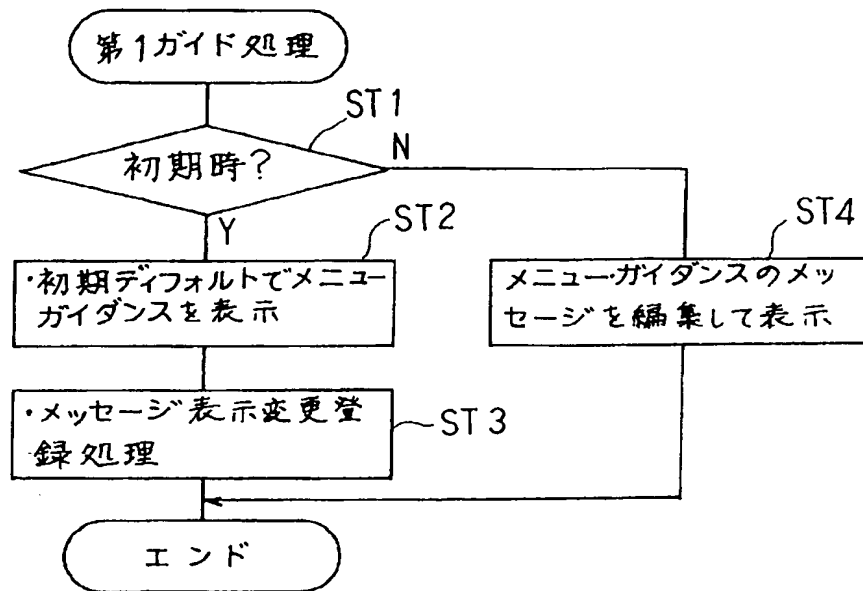
【補正方法】変更

【補正内容】

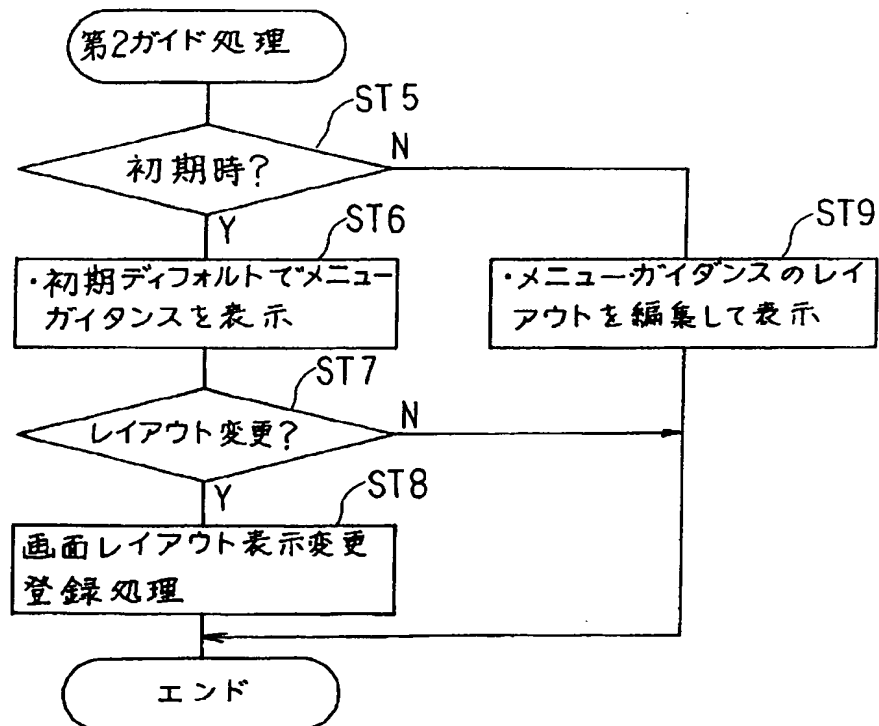
【図1】



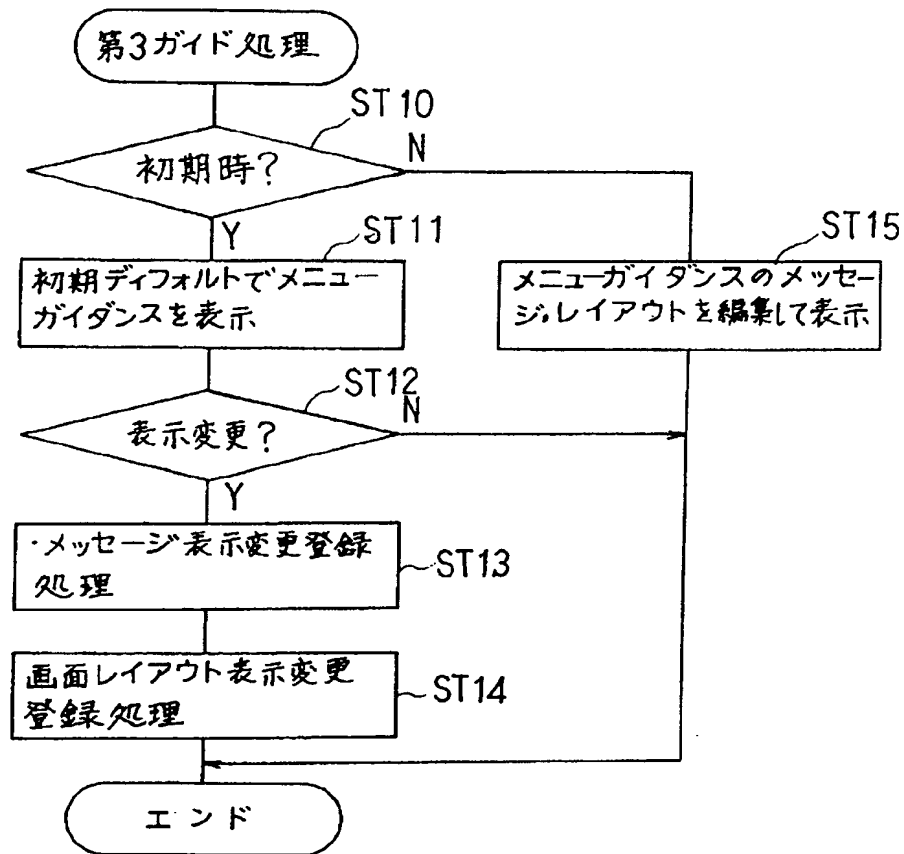
【図2】



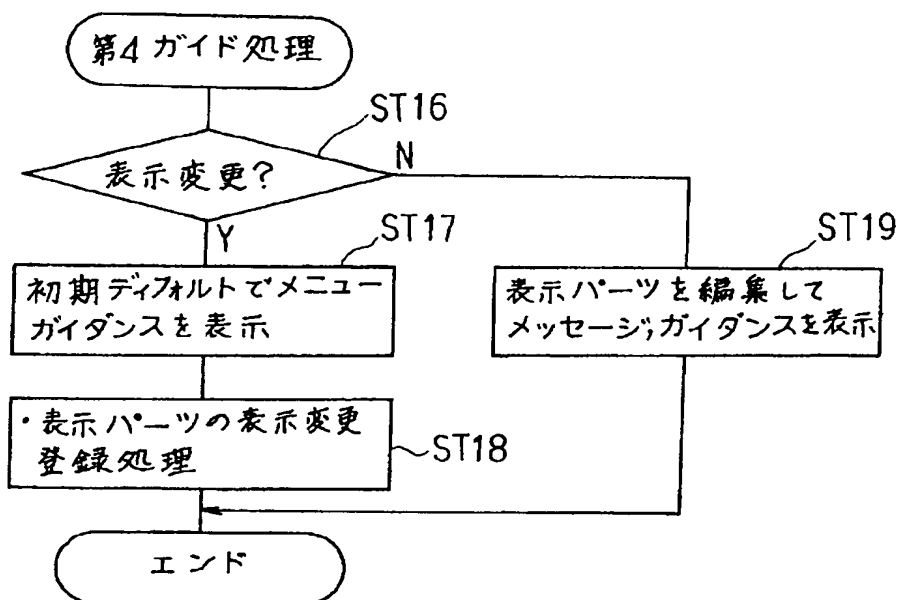
【図3】



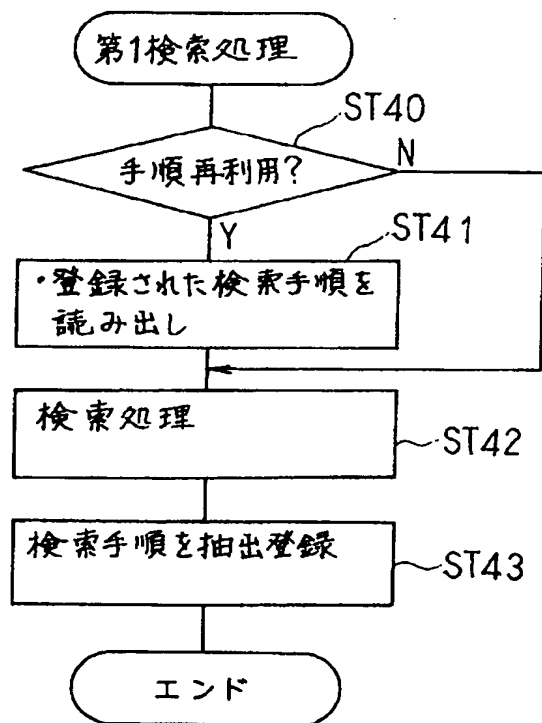
【図4】



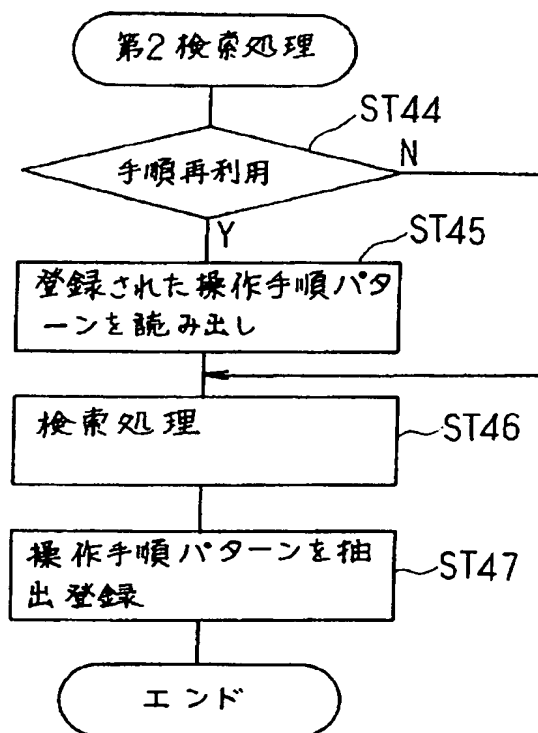
【図5】



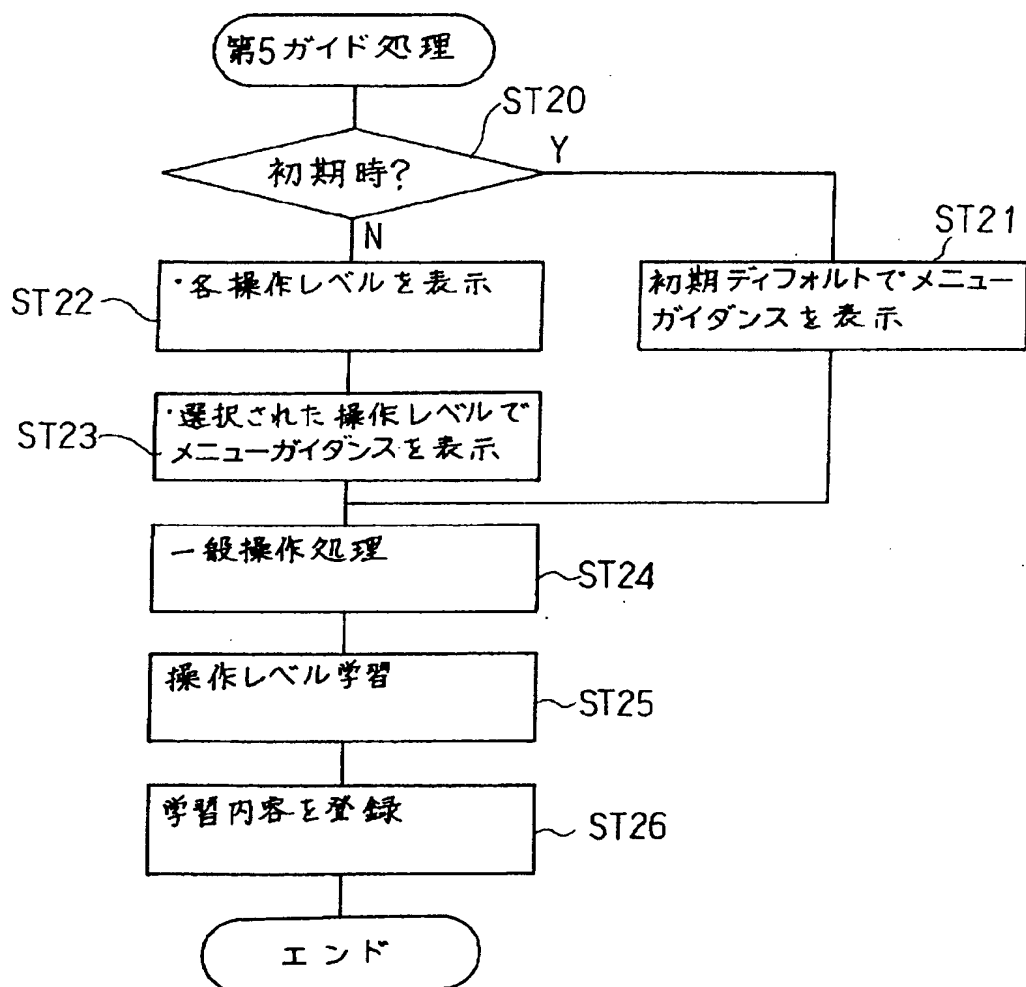
【図8】



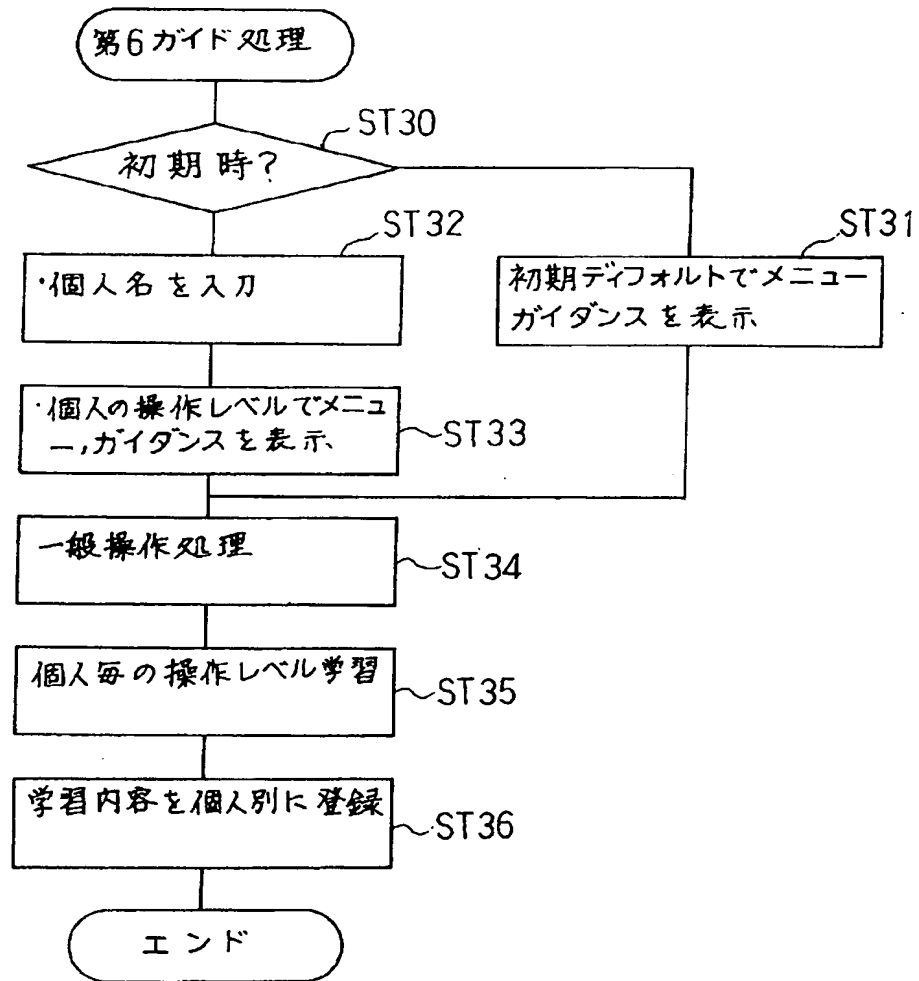
【図9】



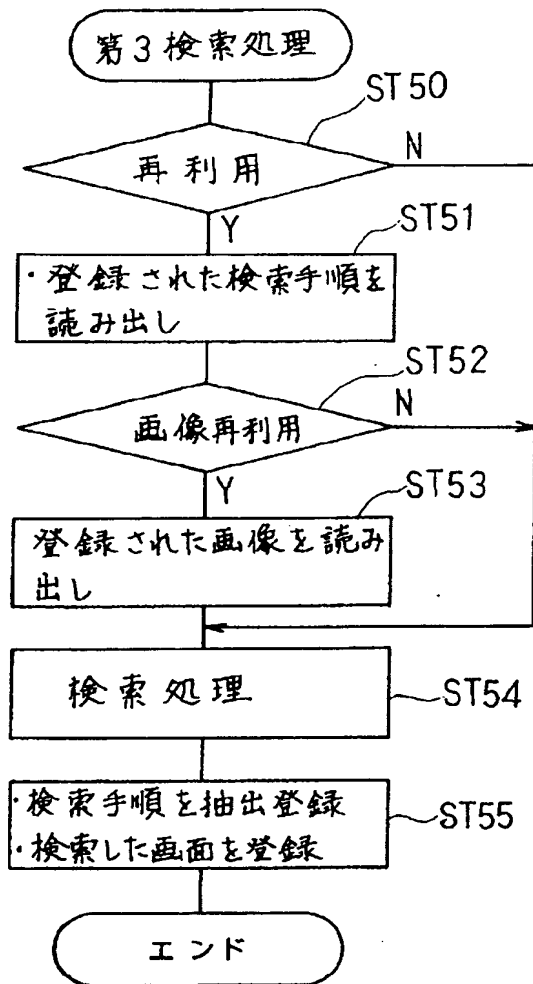
【図6】



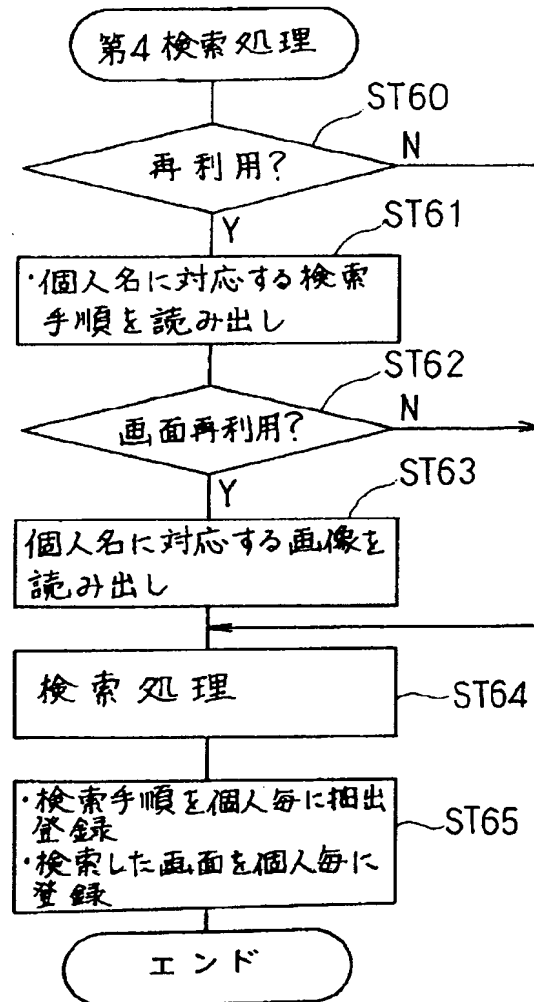
【図7】



【図10】



【図11】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)